

人生変える笑いのすすめ

豊橋で宗田氏シルバー講演会

減減渡さんの落語とコラボ



減減渡

満席の患者らを喜ばせた異色講演会
＝豊橋ハートセンターで

する鶴橋減減渡さん(本名・今村敬、豊橋落語天狗連所属)の高座を楽しんだ。

鈴木孝彦院長はあいさつで、「人は怒ると血圧が上がったり、いいことは何も無い。笑いは頭の回転を良くするので、皆さん腹から笑って快調に」と笑いを奨励する。

宗田氏は、笑いについてさまざまなが書いた本を紹介。最愛の家族を次々に亡くすなど、不運の連続だった女性の著書は、「こうなったら笑うしかない」。人生を呪(のろ)い、涙も枯れ果てた末、残ったのは笑うことだった。「この人は今、皆に叫んでいる。『笑いは人生を変える』と。また「東北地方には笑

いの土壌があり、青森放送では笑いや川柳、ジョーク作品を公募。入賞作は本当に面白い。病院ネタも結構あり腹を抱えて笑える」と話し、同センターでも、ぜひお笑いネタ投稿を」と提案した。

続く後半の部で減減渡さんは、新妻の恥じらいをしなやかなしぐさ、会話で表現した小咄(ばなし)や、腕白坊主とおぼけ親父の間抜けなやり取りで笑わす古典ものなどを披露。お得意の関西弁を駆使し、元プロ高座で活躍した実力をフル回転。席を埋め尽くす患者らのハートを、さわやかな笑いで癒やした。

(星野のりこ)

悩み撃退、笑いで人生が変わる。作家と落語家のユニークなコラボレーションイベントが9日

ハートセンターで開かれた。

作家で豊橋ふるさと大使の宗田理氏(78)＝名

夕、豊橋市大山町の豊橋古屋市在住＝が、先月ス

メを。後半は地元で活躍

タートさせたシルバー講演会の第2弾。今回は、笑